

歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和 7年 1月27日

独立行政法人水資源機構

旧吉野川河口堰管理所長 犬童 眞二

1. 目的

この歩掛参考見積の募集は、旧吉野川河口堰管理事業で予定している業務の積算の参考とするために作業歩掛を募集するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1)水資源機構における令和5・6年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2)営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3)水資源機構から「工事請負契約等に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、吉野川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1)参考見積書は作業項目毎に必要な技術者の人数を記載し提出して下さい。
なお、歩掛参考見積書の様式は別紙様式を参考にして下さい。
- (2)見積有効期限 令和7年3月31日まで
- (3)提出期間 令和7年2月4日（火）から令和7年2月10日（月）まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで

(4)提出先

独立行政法人水資源機構 旧吉野川河口堰管理所長 犬童 眞二 宛

【担当】施設管理グループ 藤田（ふじた）

〒771-0144 徳島県徳島市川内町榎瀬841

TEL 088-665-1435 FAX 088-665-1374

(5)提出方法

書面は持参、郵送又はFAX（本件責任者及び担当者の氏名及び連絡先を書面に明記すること若しくは社印の押印があること）により提出するものとします。

4. 参考見積内容

- (1)業務基本条件、業務作業项目及び作業内容

別添資料－1「見積仕様書」のとおりとします。

(2) 業務費の構成と歩掛見積範囲

- ① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（機械編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。
- ② 歩掛参考見積の範囲は、基準書で定義されている直接人件費のうち、上記(1)を実施する為に必要な技術者の人数を算出します。

(3) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和6年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合は、次に従い書面（様式は自由）により提出してください。

- (1) 提出期間：令和7年1月28日（火）から令和7年2月3日（月）まで
ただし、持参する場合は、上記期間の「行政機関の休日に関する法律」（昭和63年法律第91号）第1条に規定する行政機関の休日（以下「行政機関の休日」という。）を除く毎日9時から17時まで（12時から13時までを除く。）
- (2) 提出場所：3. (4)に同じ。
- (3) 提出方法：3. (5)に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

- (1) 閲覧期間：令和7年2月4日（金）から令和7年2月10日（月）まで
- (2) 閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

－ 以 上 －

(別添資料-1)

見 積 仕 様 書

第1節 業務目的

1. この見積仕様書は、独立行政法人水資源機構（以下「機構」という。）が別に定める「設計業務等共通仕様書（平成27年4月）（以下「共通仕様書」という。）に優先して、「河口堰開閉装置更新詳細設計業務」（以下「本業務」という。）に適用する。
2. この見積仕様書は、機構が徴収する本業務の歩掛参考見積りに適用する。

第2節 資料の貸与及び返却

1. 本業務の貸与資料は、次のとおりである。
 - (1) 気候変動を踏まえた河口堰影響検討業務 報告書（令和5年3月）
 - (2) 本業務の設計図書
 - (3) その他必要な資料（開閉装置更新後の機器配置図面）

第3節 業務内容

業務内容は、次表に示すとおりとする。

項 目	業 務 内 容	備 考
基本事項の決定	基本事項の照査	
設計図面	設計図	
数量計算	機器計算書（内訳書、集計書）	

第4節 対象設備及び設計範囲

業務対象設備及び設計範囲は以下のとおりである。

施 設 名	設 備 名	数 量	設 計 範 囲	備 考
旧吉野川河口堰	調節ゲート（上段扉）	1 門分	開閉装置更新後の建屋の 図面修正及び数量算出	
	調節ゲート（下段扉）			
	制水ゲート（1号）	1 門分		
今切川河口堰	調節ゲート（上段扉）	1 門分	開閉装置更新後の建屋の 図面修正及び数量算出	
	調節ゲート（下段扉）			
	制水ゲート（1号）	1 門分		

第5節 基本事項の決定

本業務の設備更新について、開閉装置更新後の建屋の図面修正及び数量計算の検討を行うものとし、業務対象設備の仕様については別表-1「設備諸元」による。

具体的には建屋の扉や形状、点検用歩廊の設置位置に関する図面作成・修正及び数量計算の作成である。

第6節 設計図面

検討結果に基づき、必要な図面作成、修正を行うものとする。

1. 設計図
 - (1)全体構成図
 - (2)一般構成図

第7節 数量計算

設計計算は全て Excel で計算リンクがなされていること。部品・機器類はメーカー名、規格、形式等を明記しカタログを添付すること。

以 上

設備一覧

設備の名称		今 切 川 河 口 堰 水 門 設 備	
場 所	水系名・河川名	吉 野 川 水 系 今 切 川	
	地名	右岸：徳島県徳島市川内町榎瀬	左岸：徳島県板野郡北島町鯛浜
	ゲート名称	調節ゲート	制水ゲート
	完成年月日	昭和48年8月	昭和48年8月
	開閉装置更新年月	平成9年3月	1号～4号 平成9年3月 5号～6号 平成10年3月
	製作据付会社	日立造船㈱	日立造船㈱
	門 数	1 門	6 門
扉 体 ・ 戸 当	ゲート形式	シェル構造2段式 ローラゲート	シェル構造 ローラゲート
	純系間×有効高	25.0m×6.0m	25.0m×6.0m
	水密方式	3方ゴム水密及び扉体間ゴム水密	3方ゴム水密
開 閉 装 置	開閉方式	2M2Dワイヤロープウインチ式	2M2Dワイヤロープウインチ式
	開閉速度	0.3m/min	0.3m/min
	揚 程	8.70m	8.70m
	操作方式	機側及び遠方	機側及び遠方
動 力 予 備	常 用	上段扉 電動機3φ400V 5.5kW×2台 下段扉 電動機3φ400V 7.5kW×2台	電動機3φ400V 5.5kW×2台/門
	予 備	上段扉 電動機3φ400V 1.5kW×2台 下段扉 可搬式予備動力装置	可搬式予備動力装置
動 力 源	常 用	商用電力 3φ400V	
	予 備	三相交流発電機 3φ400V 250kVA×2台 4サイクル水冷直接噴射式ディーゼルエンジン 221kW×2台 (旧吉野川河口堰管理所受変電室)	
減 速 機	形式・規格	上段扉 へリカル減速機 i=1/171 下段扉 へリカル減速機 i=1/209.9	へリカル減速機 i=1/171
	メーカー	阪神動力㈱	
	制 動 機	電動油圧押し上ブレーキ 電磁ブレーキ (電動機内蔵)	電動油圧押し上ブレーキ 電磁ブレーキ (電動機内蔵)
	休 止 装 置	手動脱着フック吊式	
付 属	階段・踊場	歩廊、手摺 (管理橋～堰柱) 螺旋階段	歩廊、手摺 (管理橋～堰柱) 螺旋階段
塗 装 仕 様	扉 体	外面：エポキシ樹脂 内面：タールエポキシ樹脂	外面：エポキシ樹脂 内面：タールエポキシ樹脂
	戸 当 り	エポキシ樹脂	
	開閉装置	鉛丹錆止め+フタル酸樹脂	
	付属設備	溶融亜鉛メッキ	

設備の名称		旧 吉 野 川 河 口 堰 水 門 設 備	
場 所	水系名・河川名	吉 野 川 水 系 旧 吉 野 川	
	地名	右岸・左岸：徳島県板野郡松茂町中喜来	
ゲート名称		調節ゲート	制水ゲート
完成年月日		昭和50年8月	昭和50年8月
開閉装置更新年月		平成11年 3月	1号 平成11年3月 2号～4号 平成12年3月 5号 平成13年3月
製作据付会社		株栗本鐵工所	株栗本鐵工所
門 数		1門	5門
扉 体 ・ 戸 当	ゲート形式	シェル構造2段式 ローラゲート	ローラゲート
	純系間×有効高	25.0m×7.3m	25.0m×7.3m
開 閉 装 置	水密方式	3方ゴム水密及び扉間ゴム水密	3方ゴム水密
	開閉方式	2M2Dワイヤロープウインチ式	2M2Dワイヤロープウインチ式
	開閉速度	0.3m/min	0.3m/min
	揚 程	9.5m	9.5m
	操作方式	機側及び遠方	機側及び遠方
	動力 予 備	常用 上段扉 電動機3φ400V 7.5kW×2台 下段扉 電動機3φ400V 11kW×2台 予 備 上段扉 電動機3φ400V 2.2kW×2台 下段扉 可搬式予備動力装置	電動機3φ400V 7.5kW×2台/門 可搬式予備動力装置
動 力 源	常用	商用電力 3φ400V	
	予 備	三相交流発電機 3φ400V 250kVA×2台 4サイクル水冷直接噴射式ディーゼルエンジン 221kW×2台 (旧吉野川河口堰操作所受変電室)	
減 速 機	形式・規格	上段扉 へリカル減速機 i=1/243 下段扉 へリカル減速機 i=1/240	へリカル減速機 i=1/243
	メーカー	阪神動力(株)	
制 動 機	制 動 機	電動油圧押しブレーキ 電磁ブレーキ (電動機内蔵)	電動油圧押しブレーキ 電磁ブレーキ (電動機内蔵)
	休止装置	手動脱着フック吊式	
付 属 塗 装 仕 様	階段・踊場	歩廊、手摺 (管理橋～堰柱) 螺旋階段	歩廊、手摺 (管理橋～堰柱) 螺旋階段
	扉 体	外面：エポキシ樹脂 内面：タールエポキシ樹脂	外面：エポキシ樹脂 内面：タールエポキシ樹脂
開 閉 装 置	戸 当 り	エポキシ樹脂	
	開閉装置	鉛丹錆止め+フタル酸樹脂	
付 属 設 備	溶融亜鉛メッキ		溶融亜鉛メッキ

河口堰開閉装置更新詳細設計業務

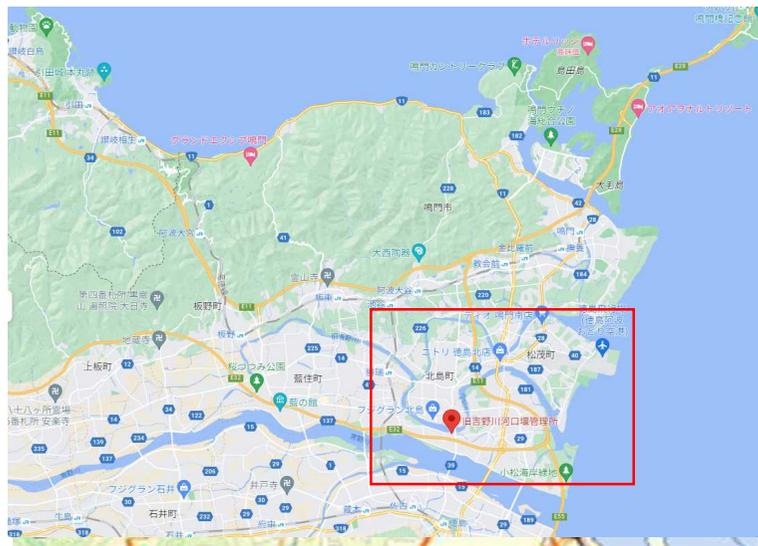
参 考 図

独立行政法人水資源機構

旧吉野川河口堰管理所

河口堰開閉装置更新詳細設計業務

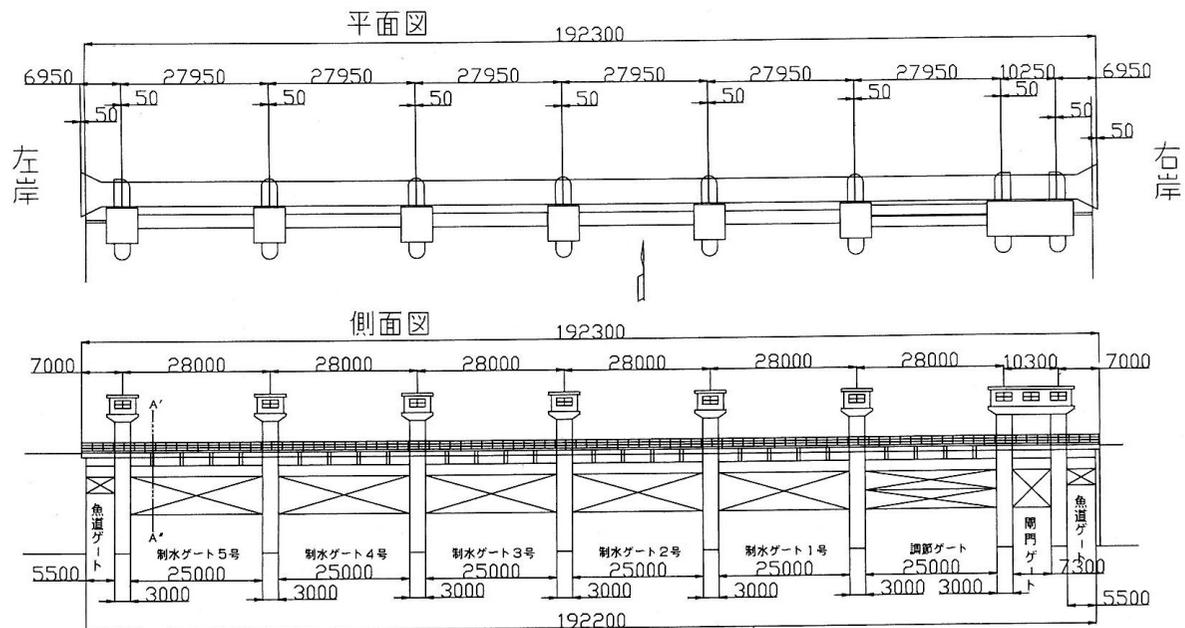
図 面 名 称		整理番号
①	位 置 図	1
②	施設全体図	2
③	旧吉野川河口堰調節ゲート 一般図	3
④	旧吉野川河口堰制水ゲート 一般図	4
⑤	今切川河口堰調節ゲート 一般図	5
⑥	今切川河口堰制水ゲート 一般図	6
⑦	旧吉野川河口堰管理所 高圧受変電設備 単線結線図	7
⑧	旧吉野川河口堰操作所 高圧受変電設備 単線結線図	8



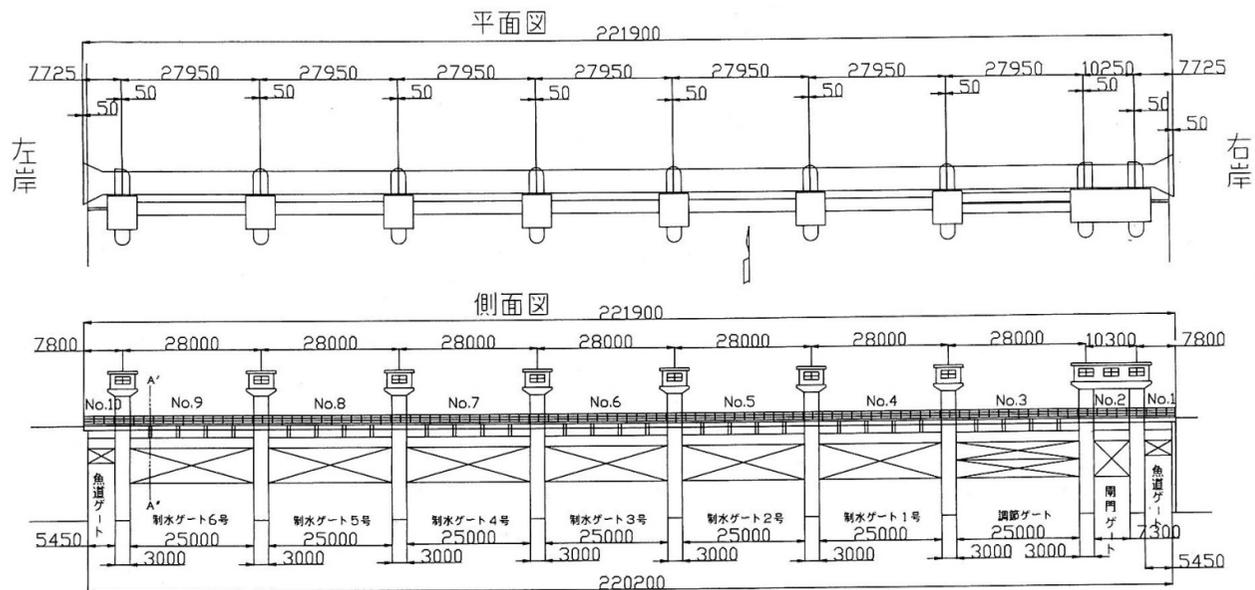
出典：国土地理院

工事名	河口堰開閉装置更新詳細設計業務		
名称	位置図		
登録番号	—	整理番号	1
独立行政法人水資源機構 旧吉野川河口堰管理所			

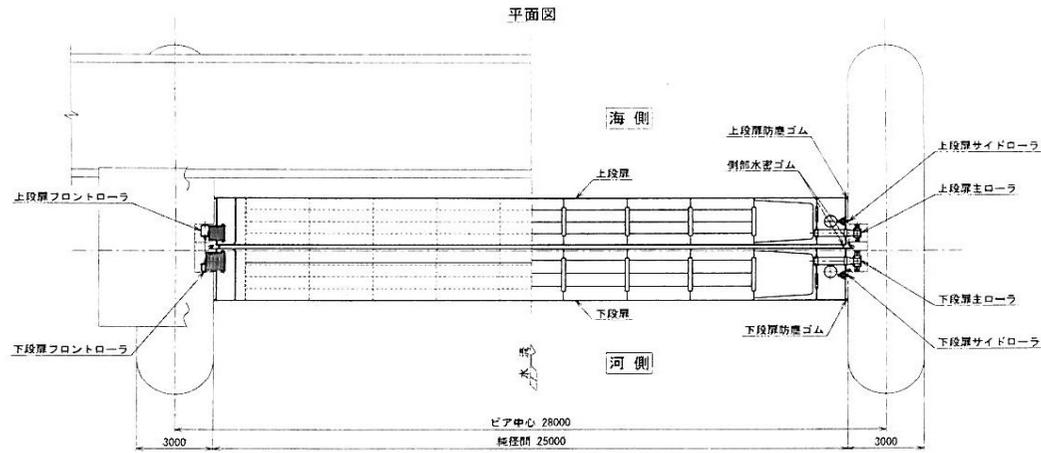
<旧吉野川河口堰>



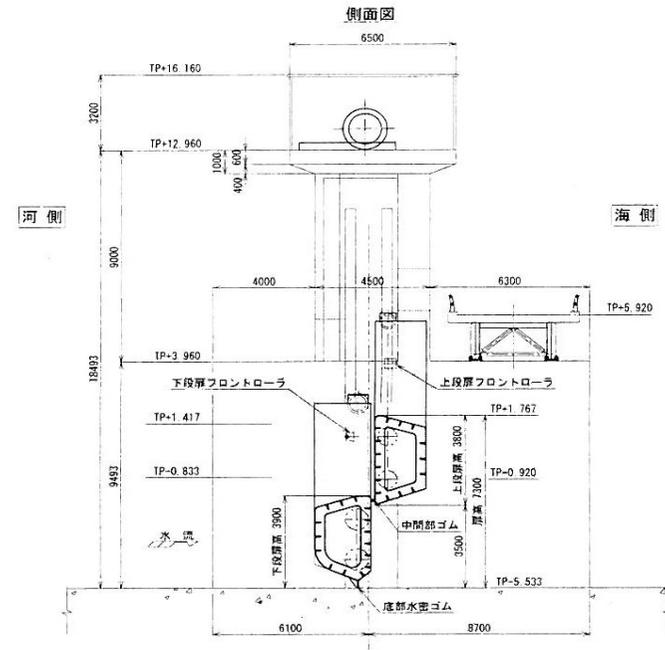
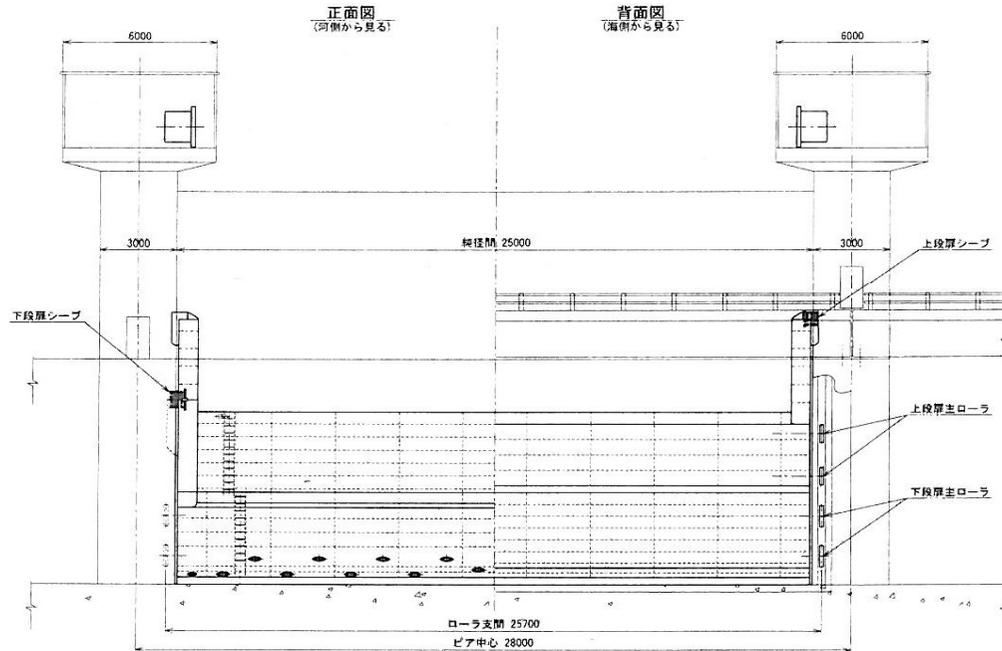
<今切川河口堰>



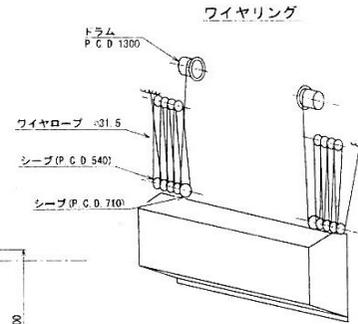
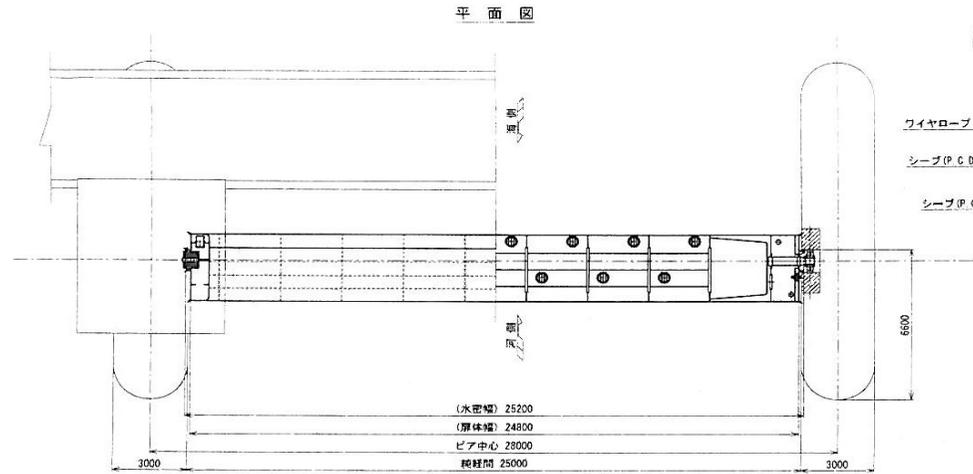
工事名	河口堰開閉装置更新詳細設計業務		
名称	施設全体図		
登録番号	-	整理番号	2
独立行政法人水資源機構 旧吉野川河口堰管理所			



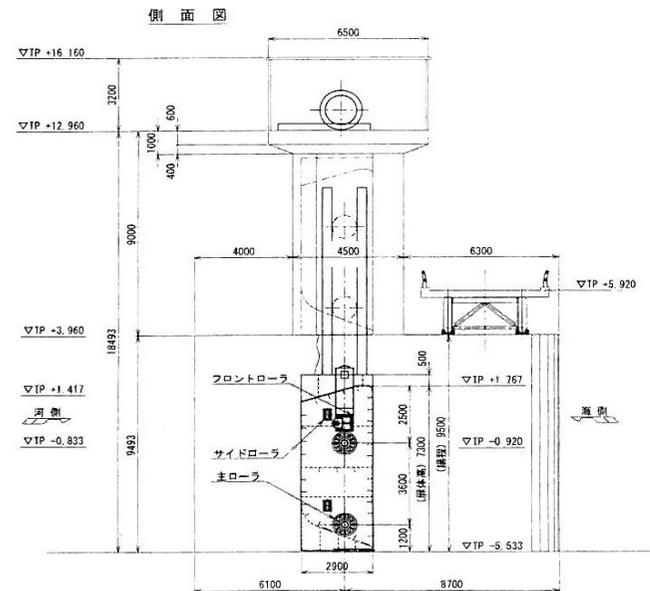
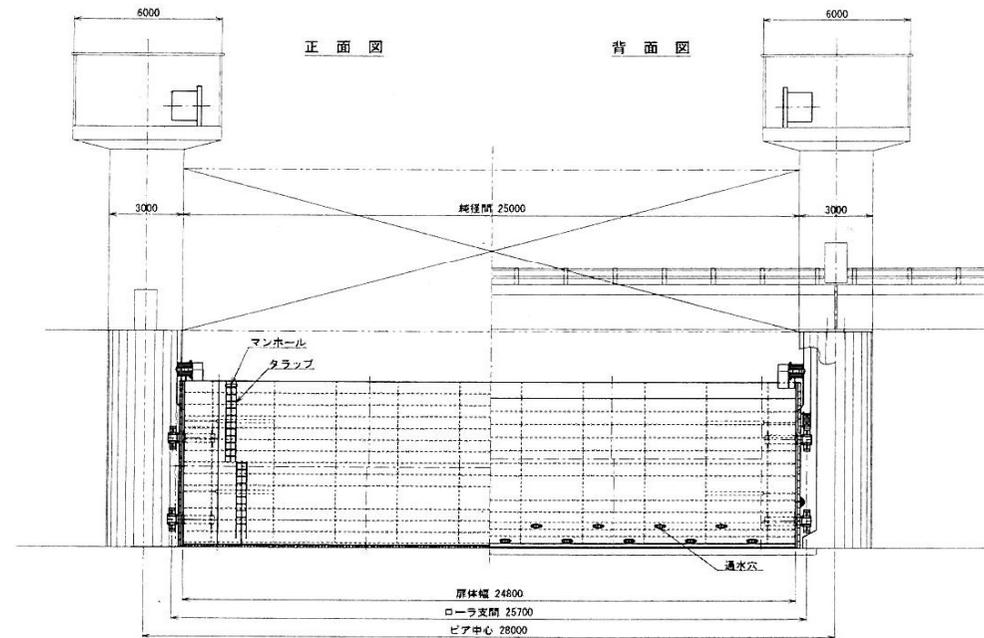
設計要項		
型式	シェル構造2段式ローラゲート	
設置数	1門	
純径間×扉高	25.0m x 7.3m	
設計水深 及び 操作水深	順流	河側 TP+1.417 海側 TP+0.920
	逆流	河側 TP+0.833 海側 TP+1.767
水密方式	両面3方水密及び側部水密	
揚程	9.5m	
巻上方式	高圧ドラムワイヤーロープウィンチ式	
巻上速度	0.3 m/min	
操作方式	機側及び遠方	



工事名	河口堰開閉装置更新詳細設計業務		
名称	旧吉野川河口堰調節ゲート 一般図		
登録番号	-	整理番号	3
独立行政法人水資源機構 旧吉野川河口堰管理所			

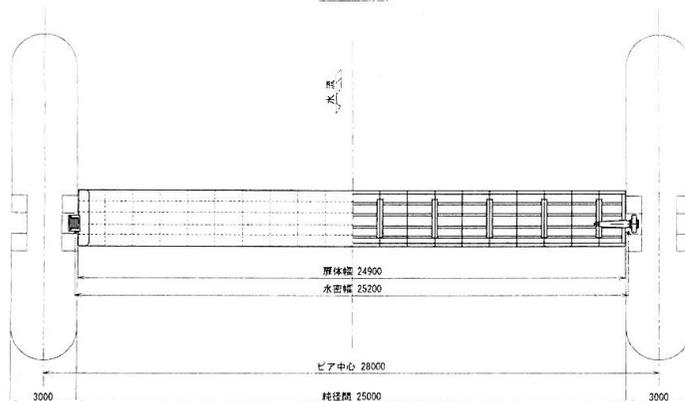


設計要項		
型式	シェル構造ローラゲート	
設置数	5 門	
純径間×扉高	25.0M × 7.3M	
設計水深 及び 操作水深	順流	河側 TP+1.417 海側 TP-0.920
	逆流	河側 TP-0.833 海側 TP+1.767
水密方式	高圧3力水密	
行程	9.5M	
巻上方式	ワイヤロープウィンチ式	
巻上速度	0.3 m/min	
操作方式	増設及び遠方	



工事名	河口堰開閉装置更新詳細設計業務		
名称	旧吉野川河口堰制水ゲート 一般図		
登録番号	-	整理番号	4
独立行政法人水資源機構 旧吉野川河口堰管理所			

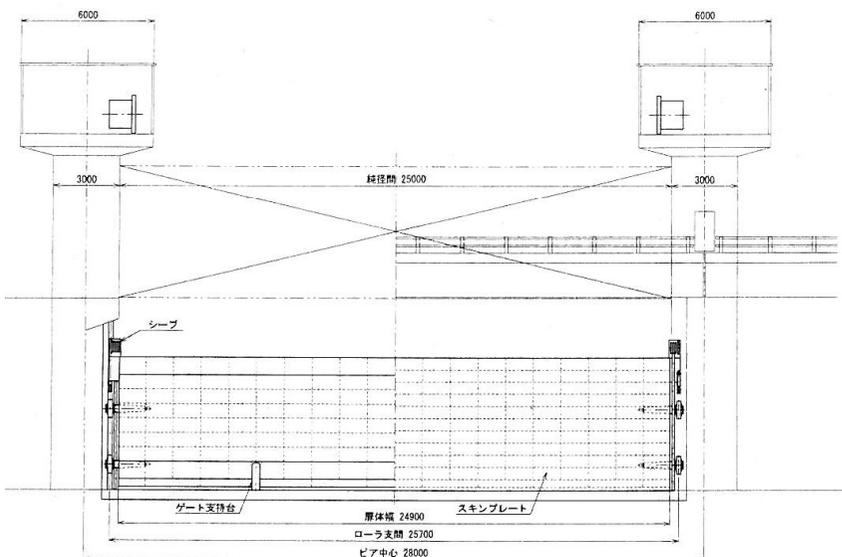
平面図



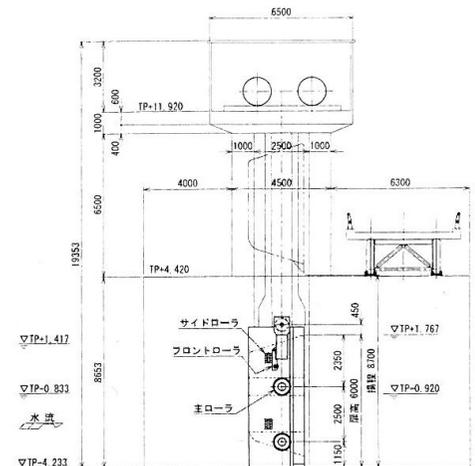
設計要項	
型式	シェル構造ローケート
設置数	6 門
総幅員x扉高	25.0M x 6.0M
設計水深 (位)	上流側 5.650m (EL TP+1.417) (3.400) (EL TP-0.833)
	下流側 3.313m (位) (6.000) (EL TP+1.767)
操作水深 (位)	上流側 5.650m (EL TP+1.417)
	下流側 3.313m (EL TP-0.830)
水密方式	3方ゴム水密
揚程	8.7M
巻上方式	ワイヤロープウィンチ式
巻上速度	0.3 m/min
操作方式	機側及び遠方
(*) 内設計水深 (位) は 逆流時 (清洲の水位が欠) を示す。	

正面図

背面図



側面図



工事名 河口堰開閉装置更新詳細設計業務

名称 今切川河口堰制水ゲート 一般図

登録番号

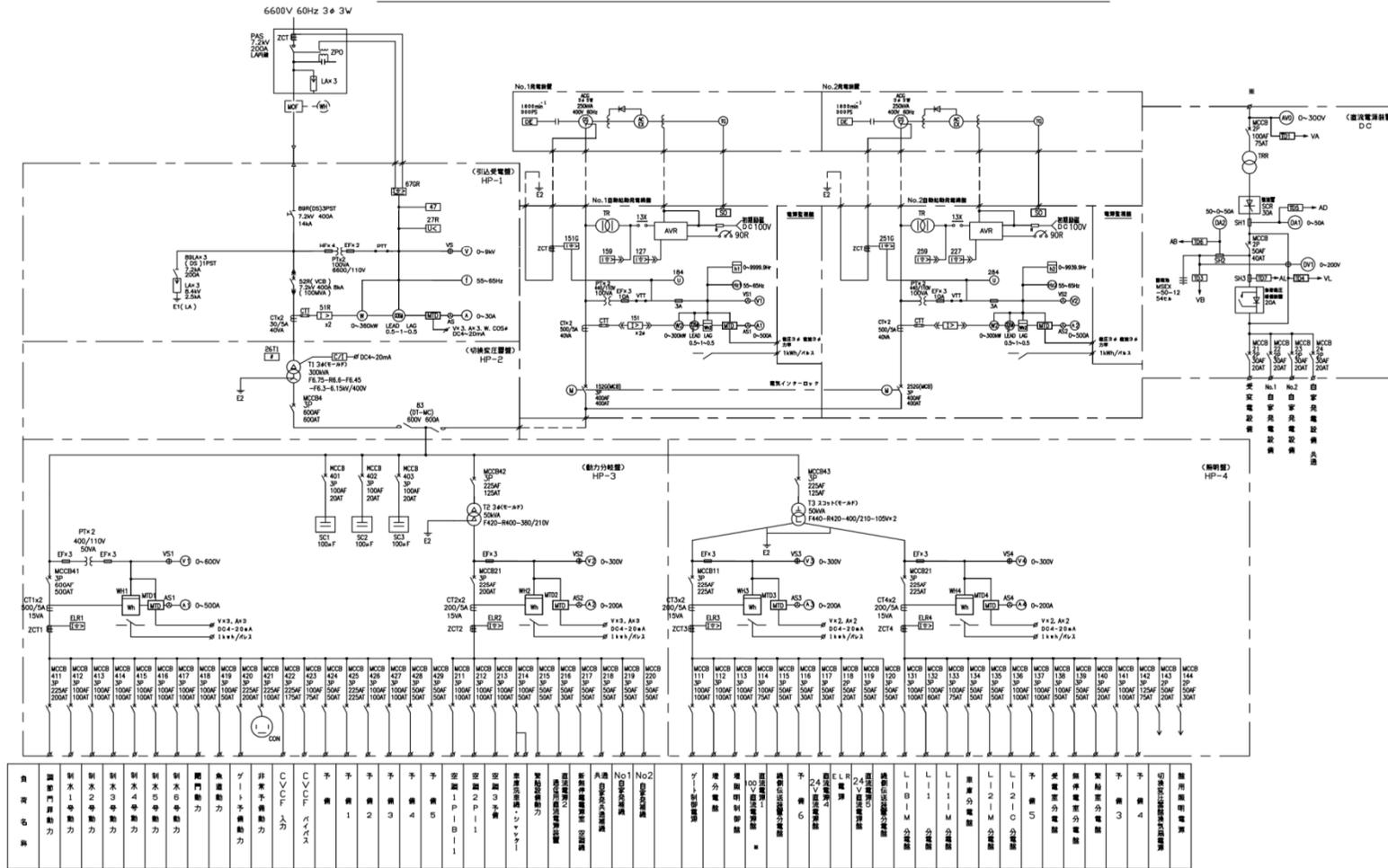
—

整理番号

6

独立行政法人水資源機構 旧吉野川河口堰管理所

旧吉野川河口堰管理所 高压受変電設備 単線結線図



工事名	河口堰開閉装置更新詳細設計業務		
名称	旧吉野川河口堰管理所 高压受変電設備 単線結線図		
登録番号	—	整理番号	7
独立行政法人水資源機構 旧吉野川河口堰管理所			

別紙様式

件名: 河口堰開閉装置更新詳細設計業務

● **工数記載にあたっての注意点**

(1) 業務作業項目、作業内容

業務作業項目は表のとおり。作業内容は見積仕様書のとおりです。

(2) 業務費の構成と歩掛見積徴収範囲

① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料(機械編)」(以下「基準書」という。)によるものとします。

② 歩掛参考見積徴収範囲は基準書で定義されている直接人件費のうち、上記(1)「業務作業項目、作業内容」を実施する為に必要な技術員の人数等を徴収します。

(3) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和6年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

(4) その他

本見積書の有効期限は令和7年3月31日までとします。

① 歩掛参考見積書

独立行政法人水資源機構

年 月 日

旧吉野川河口堰管理所長 犬童 眞二

会社名

印

参考見積様式

区分	単位	技師長(人)	主任技師(人)	技師A(人)	技師B(人)	技師C(人)	技術員(人)
【旧吉野川河口堰】							
1. 基本事項の決定	1式						
2. 設計図面	1式						
3. 数量計算	1式						
小計							
【今切川河口堰】							
1. 基本事項の決定	1式						
2. 設計図面	1式						
3. 数量計算	1式						
小計							

② その他(特記事項があれば記載)

--